

カンガルーシップ活動 理解プロジェクト 実施報告書

報告日	平成29年2月2日
学校名	鹿児島大学教育学部附属特別支援学校
PTA会長名	時任 文代

実施概要	実施活動名	ふとくフェスティバル
	実施日時	平成29年1月29日 午前9時から午後2時30分
	実施場所	鹿児島大学教育学部附属特別支援学校（体育館、なかまの家、中学部教室、職員室）
	実施目的	学習発表や展示・販売活動を通して、交流校や近隣の学校、地域の人々など多くのふれあいの機会を設け、お互いの友好を深めたり、関わりを広げたりする。
	実施内容	児童生徒による学習発表（舞台発表）と、児童生徒作成による製品の展示・販売、PTAによるバザー活動（附属小PTAや障害者施設等の出店も含む）
	実施方法	事前にポスターやチラシ、マスメディアを通して地域を含む鹿児島県下に告知する。午前中に学習発表、午後から作業学習等で作成した製品を販売する。物品バザーや食バザーは、PTAが主体となって実施する。バザーには本校以外に附属小PTAや障害者施設も出店する。
参加人数	児童生徒60人、保護者約90人、教職員39人、学生ボランティア17人、地域の方々約300人	

報告事項	内容	<p>【発表の部】 舞台発表（9:00～11:00） 児童生徒会役員によるオープニング、小・中・高各学部の発表、高等部3年生による将来の夢校長挨拶</p> <p>【ふれあい活動】 生徒の作業製品販売、バザー（11:30～14:00） 中学部・高等部生徒作業製品販売（手芸、窯業、木工の各製品） 本校PTAによるバザー（提供品、手作り品の販売、うどん、焼きそばなどの食バザー） 附属小PTAによるバザー（提供品販売、ジュースの販売） 障害者施設による製品販売（3事業所による手作り品やクッキーなどの販売）</p> <p>【クロージング】 児童生徒会長、PTA会長の話 ※鹿児島大学マスコットキャラクター「さつつん」も参加</p>
	結果	途中で雨に見舞われることもあったが、1月末にしては気温も高く、過ごしやすい中での活動となった。事前学習の成果もあり、児童生徒は日頃の学習の成果を舞台上で思い切り発表したり、製品販売でお客様とのやり取りをしたりすることができた。事前に新聞の地域欄や市内を走る路面電車の中張り広告に掲載したためか、一般のお客様も多く訪れてくださった。児童生徒の発表する姿を見て「感動した。」とおっしゃる方や作業製品を見て、そのクオリティーに驚く方もいらっしゃった。特に中学部生徒がその場で注文を受け、糸のこ盤を使って、動物の形を下絵なしで切り抜いていく実演販売では人だかりもできる程で、多くの方に障害のある子どもたちの理解を深めていただくことができた。附属小学校のPTAが販売をしてくださったり、各附属学校園の方も訪れてくださったりすることで、鹿児島島の四附属学校園のつながりを深めることもできた。毎年楽しみにしていると言ってくれる地域の方もおり、イベントが地域の方にも定着してきている。
	所感	学校への問い合わせが増えてきたり、リピーターが増えてきたりするなど活動が広まってきていることを感じる。本校への入学を検討していると思われる障害のある幼児児童生徒とその家族の姿も見られ、学校の教育内容やPTA活動を知っていただく機会にもなっていると感じた。12月の親子ふれあい活動の成果からか例年より附属学校園の方々の姿が多く見られた。二つの行事の相乗効果で次年度以降、もっともつと四附属学校園の連携を深めていきたい。福祉施設から出店の問い合わせもあるので、学校だけでなく、障害のある方々について理解・啓発を深める良い機会になると思う。反省点もいくつか挙がってきているので、反省を生かしながら来年度以降より良いものにして継続していきたい。

添付書類

収支決算書、領収書添付シート、参加感想、写真、市電中吊り広告





1月の鹿児島大学

KAGOSHIMA UNIVERSITY
 進取の気風にあふれる総合大学
 鹿児島大学広報センター 電話 099-285-7035



附属特別支援学校の児童とざっつん

ふとくフェスティバル

日時：1月29日(日) 9:00～14:30

場所：教育学部附属特別支援学校
 (下伊敷1丁目10-1)

午前の部 小・中・高等部の児童生徒による
 舞台発表

歌唱、演奏、劇、ダンス、
 プレゼンテーションなど

午後の部 小・中・高等部の児童生徒による
 製品展示・販売

陶芸製品、木工製品、手芸製品など

☆PTAによる手作り品バザー、お食事もどうぞ!
 【お問い合わせ先】
 教育学部附属特別支援学校
 TEL: 099-224-6257

ジュニア陸上教室

小学生の時に培った走、跳、投の基礎は
 将来多くのスポーツに役立ちます

開催期間：1月7日(土)～3月19日(日)
 ※土曜日、月3回程度開催

練習時間：10:30～12:30
 (土曜授業日を除く)

対象者：小学生

【お問い合わせ先】
 工学部事務担当(田中)
 TEL: 099-285-8417
 E-mail: kjrikujo@gmail.com

薩摩琵琶製作研究発表会

日時：1月29日(日) 13:30～16:00

場所：教育学部講義棟 103号教室

対象：中学生以上の一般市民

薩摩琵琶の歴史、音色の秘密、スキャンに
 よる内部構造、製作技術について紹介します

【お問い合わせ先】
 教育学部技術学講座
 木工加工研究室 寺床勝也 教授
 TEL: 099-285-7872
 E-mail: teratoko@edu.kagoshima-u.ac.jp

附属動物病院では 輸血ドナーを募集しています

輸血ドナー登録にご協力いただける方は、
 獣医師が詳細を説明しますので、受付まで
 お問い合わせください。



【お問い合わせ先】
 附属動物病院(平日朝8時～17時まで)
 TEL: 099-285-8750
 E-mail: dogcat-donor@vet.kagoshima-u.ac.jp

平成29年度入試日程

まもなく願書受付開始

一般入試 願書受付期間：

1月23日(月)～2月1日(水)
 17:00 必着

一般入試 試験日：

前期：2月25日(土)・26日(日)
 後期：3月12日(日)・13日(月)

【お問い合わせ先】
 学生部入試課
 TEL: 099-285-7355

医学総合研究科 進学説明会

日時：1月21日(土) 13:00～15:20

場所：宝山ホール 第4会議室
 (鹿児島県文化センター)

内容： 医科学専攻修士課程の概要説明
 各分野の研究内容の紹介など

医科学専攻修士課程は、医学部医学科や
 歯学部歯学科出身者(医師・歯科医師)
 以外の方のためのコースです。

【お問い合わせ先】
 学務課医歯学大学院係
 TEL: 099-275-5120
 E-mail: isggdi@kuas.kagoshima-u.ac.jp

医学総合研究科(博士課程) 学生募集

平成29年4月入学(第2次)

出願期間：2月6日(月)～2月10日(金)

出願資格：
 1. 医学、歯学又は修業年限が6年の薬学
 若しくは獣医学の大学卒業生及び平成
 29年3月31日までに卒業見込の者
 2. 修士課程を修了した者及び平成29年
 3月31日までに修了見込の者

※その他の出願資格に関する詳細は、
 総合研究科 HP でご確認ください。

【お問い合わせ先】
 学務課医歯学大学院係
 TEL: 099-275-5120
 E-mail: isggdi@kuas.kagoshima-u.ac.jp

大学院人文社会科学研究科 II期入試

出願期間：1月4日(水)～1月10日(火)
 入学試験日：2月14日(火)

【お問い合わせ先】
 法文学部大学院係
 TEL: 099-285-7646

司法政策教育研究センター 法律相談

日時：1月19日(木) 15:00～17:00
 1月21日(土) 13:00～15:00
 場所：郡元キャンパス総合教育研究棟7階
 司法政策教育研究センター

教育活動の一部として実施するため、相談を受けるに当たり、
 ご理解・ご協力をいただくことがあります。

【予約・お問い合わせ先】
 司法政策教育研究センター(総合教育研究棟7階)
 TEL: 099-285-7569, 3905



カンガルーシップ活動 理解プロジェクト参加感想

提出日	平成 29 年 2 月 2 日
学校名	鹿児島大学教育学部附属特別支援学校
学年	中・高生徒

- ・ 今日、ふとくフェスティバルがありました。ぼくは舞台上で縄跳びやボールをしました。午後からは木工班ですのこやパズルを販売しました。たくさん売れました。(中3男子)
- ・ 今日、班別作業の時にふとくフェスティバルの販売の振り返りをしました。セットは売れないということがわかりました。エプロンも売れないということがわかりました。お金の計算をするのをがんばりました。(中2女子)
- ・ ふとくフェスティバル本番でした。一番に教室に入って、竹取物語の準備もバッチリでした。本番もみんなと楽しい思い出ができました。木工班の製品もたくさん売れてうれしかったです。(高3男子)
- ・ 午前中は舞台発表をしました。人形の操作、合唱する位置も忘れずに発表ができました。午後は製品販売会をしました。タブレットで値段をよく見て会計をしました。疲れましたが無事終わってよかったです。(高1男子)
- ・ 僕はダンスを踊りました。来年も頑張りたいです。ふれあい活動では葉っぱ皿を売りました。(高1男子)
- ・ 私はふとくフェスティバルでかぐや姫の劇を竹取物語で発表しました。人形操作に合わせて、せりふを読むことができました。販売会では会計係をしました。タブレットを使ってお金の計算をしたり、おつりを間違えずにお客さんに渡すことができました。たくさんの製品が売れたのでうれしかったです。(高2女子)

カンガルーシップ活動 理解プロジェクト参加感想

提出日	平成 29 年 2 月 2 日
学校名	鹿児島大学教育学部附属特別支援学校

- ・ インフルエンザや寒さの心配をしていましたが、無事に開催され良かったです。舞台発表では、子どもたち一人一人が活躍できるように工夫されていて、感激しました。日頃の学習の様子もよく伝わってきて、とても良かったです。バザーにもたくさんの方がいらっしゃいましたが、PTA 総務部の方や役員の方々の事前の準備のおかげで、慌てることなく対応できました。普段なかなか学校に来る機会の少ないお父様方も、販売活動を手伝ってくださりよかったですと思います。（小学部保護者）
- ・ 初めてのふとくフェスティバル、ドキドキしながら参加しました。「ふとく紅白歌合戦」では堂々と発表する我が子の姿に成長を感じ、うれしく思いました。午後の作業製品の販売では、一生懸命作ったお皿が売れていく様子を見ながら嬉しそうな我が子の表情を見て、こちらまで笑顔になりました。我が家のお皿もまた増えてしまいました。（中学部保護者）
- ・ 今年は暖かかったこともあってなのか、参加者が多くなっている気がしました。途中でミニフランクフルトの電気が落ちてしまい、少し慌てましたが、教頭先生や学級理事の方がすぐに対応してくださったおかげで、あまりお客様を待たせることもなく販売ができて良かったです。高等部の販売活動は人がたくさんでびっくりしましたが、前からほしかったさおり織のネックストラップを買うことができて良かったです。（高等部保護者）
- ・ 今年は附属学校園の PTA 会長さんをはじめ、去年より多くの方々が来ていただいたような気がします。親子ふれあい活動の時に来ていた小学校の子どもさんも来ていました。また、昨年の反省を受けて大きな会場案内の看板を準備してくださったおかげで、販売に来られていた小学校の PTA の方々も子どもたちの製品販売を見に行くことができたようです。年々、附属学校園のつながりが深くなってきている気がします。今後も附属間の交流と本校の子どもたちの理解を深めていただく機会として大切にしていきたいと感じました。（PTA 役員）